

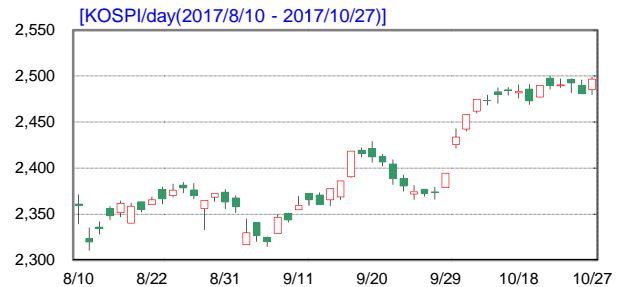


## 【韓国】 総合指数は週間で0.3%高と6週続伸、今週は貿易統計などの指標に注目

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.3%高と6週続伸。相場の先高観が強い中、米株高などを手掛かりに総じて強気な地合いが続いた。好調な第3四半期決算を見込んだ海外勢や国内の個人投資家の買いや、足元の米長期金利の上昇を受けた金融株への買いなどが相場を支えた。週初の23日には一時、初めて指数が2500ポイントを上回る場面も見られた。26日は4営業日連続で終値の過去最高値を更新した後で、ハイテク株などを中心に利益を確定する売りに押された。27日は米株高を手掛かりに反発し、再び最高値を更新して取引を終えた。今週は貿易統計などの経済指標に注目。10月31日に鉱工業生産、11月1日に貿易統計が相次いで発表される。指数が過去最高値圏にある中、結果次第では相場のボラティリティが高まる可能性がある。

### ▼指数チャート



## 【ロシア】 RTS 指数は週間で1.4%安と続落、今週は弱含む展開が続くか。

### 先週の動き／今週の展望

RTS 指数は週間で1.4%安と続落。前週に下落した流れを引き継ぎ、総じて軟調な展開となった。週前半に弱含んだ原油相場や小売大手マグニトの第3四半期決算の大幅減益などを嫌気し、マイナス圏での取引が続いた。27日はロシア中央銀行が市場予想通りに、主要政策金利を8.50%から8.25%に引き下げた上で、さらなる金利引き下げを検討するとし、追加利下げの可能性も示唆した。こうした発表を受けて市場では材料出尽くしが意識された。RTS 指数は一時的にさらに売りに押され、前日比1.1%安の1105.50ドルまで下落。ただ、OPECが減産措置を延長する可能性があるとの期待でブレント原油価格が60ドル超まで上昇すると下落幅を縮め、1118.62ドルで取引を終えた。値ごろ感はあるが、今週も弱含む展開が続くか。

### ▼指数チャート



## 【ベトナム】 VN 指数は1.6%高と4週続伸、今週はセンチメント良好で堅調か

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で1.6%高と4週続伸。先週も堅調な値動きが続いた。良好な企業決算や個別材料を好感し、2008年2月以来の840ポイント台を回復した。週序盤は前週末の流れを引き継ぎ、マイナス圏での取引。指数は24日に一時、814.92ポイントまで下落したが、25日にプラス圏に浮上。その後はじり高となり、27日は前日比1.2%高の840.37ポイントと週間の高値で取引を終了した。前週に相場をけん引したファロス建設が先週も38.7%高と大幅に上昇したほか、子会社ビンコム・リテールの新規上場が11月6日に決定したビンググループが3.1%高、第3四半期決算で純利益が31%増となったベトナム外商銀行が2.9%高となり、指数を押し上げた。今週は高値警戒も出てきたが、センチメントは良好で堅調な展開か。

### ▼指数チャート

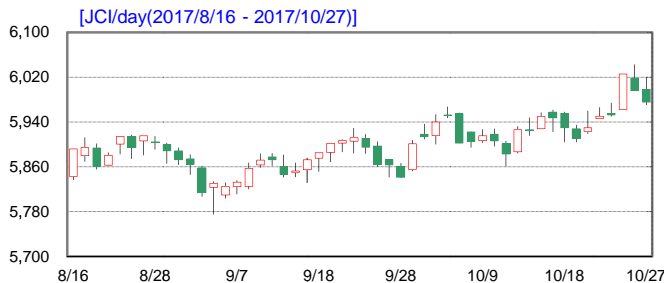


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.8%高、25 日に終値ペースで 6000 ポイントに到達**

ジャカルタ総合指数は週間で 0.8%高と 4 週続伸。外部要因が株式相場を支配した。24 日は国際エネルギー機関 (IEA) が東南アジアのエネルギー需要が 2040 年までに約 60%増加するとの見通しを示したことを受けて資源株が買われ、指数は 3 営業日続伸。25 日は原油価格の上昇が好感されて終値ペースで 6000 ポイントに到達し、2 日連続で過去最高値を更新した。一方、26 日は米予算決議案の下院採決を目前に控え、可決の見込みが高まったことを受けてドル高ルピア安が進んだ影響で反落すると、27 日も続落して取引を終了。今週は 1 日に 10 月の CPI が発表される予定で、物価上昇圧力の低下が続けば好材料。

### ▼指数チャート



## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 1.4%高、2 年 5 カ月ぶりの高値を更新**

ストレーツタイムズ指数は週間で 1.4%高と 4 週続伸。おおむね好調に推移した。23 日は 9 月の CPI 上昇率が前年同月比 0.4%と前月と同水準を維持したことを受けて 7 営業日続伸。24 日は反動で売られたものの 25 日に反発すると、26 日は 9 月の鉱工業生産が前年同月比 14.6%増と市場予想から上振れたことが好感された。27 日は 7-9 月期決算で 2 桁増益を計上したオーバーシー・チャイニーズ銀行が指数上昇をけん引し、終値で 2 年 5 カ月ぶりの高値を更新して取引を終了。今週は 2 日に 10 月の製造業 PMI が発表される予定で、11 年 4 月以来の最高水準に達した前月を上回れば株式相場の追い風になる。

### ▼指数チャート



## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.4%高、原油価格の上昇を好感**

SET 指数は 3 日間の取引で 1.4%高と反発。前週の反動でじりじりと上値を広げた。25 日は前日にサウジアラビアのエネルギー担当相が 18 年 3 月までの予定で合意されている原油の協調減産終了後も生産制限を継続する可能性を示唆したことを受け、価格が 4 週間ぶりの高値を付けた効果で資源株が値上がりして指数上昇をけん引。プミポン前国王葬儀のための休場を挟んだ 27 日は、指数ウェートの大きいタイ石油公社 (PTT) が買われて 4 営業日続伸した。今週は 31 日に 9 月の鉱工業生産、1 日に 10 月の CPI が発表される予定。前年同月比の CPI 上昇率は 0.9%だった前月並みを維持できるかが焦点になる。

### ▼指数チャート



## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.3%高、首相が GDP 成長率見通しを上方修正**

クアラルンプール総合指数は週間で 0.3%高と 3 週ぶりに反発。週末の値上がりりが指数を支えた。23 日は値ごろ感のある銘柄が買われて小幅ながら 5 営業日ぶりに反発。日経平均が約 21 年 3 カ月ぶりの高値を付けたことも追い風だった。その後は買い材料に乏しく一進一退が続いたが、27 日は国营電力会社テナガ・ナショナルが前日に発表した 8 月期決算で年間配当が前年から約 2 倍に増加したことを受けて買われ、指数上昇をけん引。ナジブ首相が予算演説で 17 年の GDP 成長率見通しを上方修正したことも好感された。今週は 3 日に 9 月の貿易統計が発表される予定で、輸出入ともに堅調に推移するとの見方が優勢。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。